

平成18年12月
長官官房総務課

第13回警察庁政策評価研究会議事要旨

1 日時

平成18年11月6日(月)午後0時50分から午後2時40分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英 首都大学東京都市教養学部長(座長)
妹尾 堅一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任教授
高木 光 学習院大学法科大学院教授
田邊 國昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授
西川 元啓 新日本製鐵株式会社常任顧問チーフリーガルカウンセラー

警察庁

安藤 隆春 官房長
片桐 裕 総括審議官
松尾 庄一 政策評価審議官
巽 高英 長官官房審議官(生活安全局担当)
伊藤 茂男 長官官房審議官(刑事局担当)
野村 守 長官官房審議官(交通局担当)
福島 克臣 長官官房審議官(警備局担当)
山澤 求 技術審議官
小野 正博 警察大学校警察政策研究センター所長(オブザーバー)
岩瀬 充明 総務課長
高須 一弘 総務課情報公開・個人情報保護室長
大賀 眞一 長官官房企画官兼企画分析課理事官
大塚 尚 生活安全企画課理事官

4 議題

- (1) 平成19年政策評価の実施に関する計画(案)
- (2) 平成19年実績評価計画書(案)
- (3) 総合評価書 街頭犯罪・侵入犯罪の発生を抑制するための総合対策の推進(案)

5 議事要旨

- (1) 平成19年政策評価の実施に関する計画(案)及び平成19年実績評価計画書(案)について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

後部座席のシートベルト着用について、単なる指導にとどまらず、法制化による義務付けを検討している場合には、「業績目標達成のために行う施策」欄で法制化の検討についても触れてもよいのではないかと。

一部の業績目標において、業績目標の達成状況を測るために必要と思われる業績指標が設定されていないケースが見られるので、再検討をすることはどうか。

政府全体として取り組んでいるような重要な政策について全く触れていない例が見られるが、警察庁の政策評価でも触れるべきではないかと。

一部の業績目標について、読み方によってはミスリードされるおそれがあるので、タイトルを工夫した方がよいのではないかと。

今後始まる予算と評価のタイアップに向けて、どう対応していくのかのチェックはできているのか。

- (2) 総合評価書 街頭犯罪・侵入犯罪の発生を抑止するための総合対策の推進(案)について、生活安全局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

都道府県別の分析が必要ではないかと。

犯罪予防法制研究部会部会員の主な意見を載せるだけでなく、それに対する警察庁の見解を示した方がよいのではないかと。

街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数等が減少しているが、警察の取組み以外に寄与している要因として考えられるものは何か。

街頭犯罪等抑止計画を策定した地域と策定していない地域とを比較しないと、計画自体の有効性を評価することは困難ではないかと。